

別記様式第7号

公益信託ぎふNPOはつらつファンド
実績報告書(事業助成用)

平成 18 年 9 月 21 日

公益信託ぎふNPOはつらつファンド受託者
三菱UFJ信託銀行株式会社 あて

住 所:〒 503 - 1515
岐阜県不破郡関ヶ原町大字関ヶ原 3 2 0 1 番地
法人(団体)特定非営利活動法人
ビビッドタウン関ヶ原 印
代表者名: 桑原栄作

公益信託ぎふNPOはつらつファンドから平成17年度(後期)の事業助成を受けた事業が完了しましたので、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1. 事業名

地産蕎麦の食材加工を通じて町おこし特産品づくり

2. 助成の種類 該当するものに を付けてください。

法人設立準備助成	立ち上げ時事業助成	展開期事業助成	人材育成事業助成
----------	-----------	---------	----------

3. 助成金額

既交付金額	1.000千円
実績額	1.000千円
差し引き額	0千円

4. 事業実施期間

平成17年10月 1日 ~ 平成18年 9月31日 (1年間)

5 . 実施した事業の実績・成果

(1) 具体的な活動状況（実施日時、場所(住所)、対象者、参加者等）

私たちの作っているそばを昔の地名から引用して「わざみのそば」と命名し、関ヶ原の歴史を語る上でもそばの話題が必要であると考え、PR効果を狙いました。

ビビッドタウン関ヶ原は蕎麦生産者と充分連携を保ち、増産と、加工販売を行うとともに、そば加工要員は定期的に研修を実施し技術の高揚に努めています。今後の販路を拡大するため一店舗に協力をお願いし、拡販の模索も実施しています。

そばつゆは既製品を使用していましたが、そばつゆづくりに必要な容器を購入したことにより、関ヶ原の醸造会社のたまりを使い独自のそばつゆを開発しました。今後一層研究を重ね、関ヶ原産のそばとつゆがマッチした特産品づくりに努めます。

9月20日に実施された、「いきいきサロンの集い」には参加者に300食以上のそばを無料で提供したり、関ヶ原町のイベント「ふれあい21」や社会福祉協議会のイベントに参加して、地域活動に貢献しました。

(2) 活動の成果（開催行事等の参加規模、目的の達成度、効果等）

関ヶ原町蕎麦生産組合は平成17年度蕎麦生産優良地区の全国表彰を受けられました。それにはビビッドタウン関ヶ原が蕎麦の商品化に取り組み、そばの付加価値を高め、販路の拡大等が大きく貢献していると思います。その結果生産者は17年度の生産量の130%を18年度目標にされています。

また、蕎麦練機を購入したことにより、一層良質なそばを加工生産することが出来るようになりました。

平成18年度のビビッドタウン関ヶ原が1年間に使用した玄蕎麦は1トンですが、19年度は2トンを購入し、特産品として価値を高める努力をしています。

(3) 今後の課題

今までそばの加工は人的作業の手打ちで行ってきましたが、今後生産量の増大と要員の高齢化等を考えると、若い労働力確保が重要課題ですか、機械化も必要となってきました。練機は導入できましたが、付随する機械の購入も課題です。

また、つなぎに使う小麦も関ヶ原で生産し、製粉等も含め地場産業の一環として取り組みます。

次に販路の拡大は、地域の飲食関連と連携を保ち、どこでもわざみのそばが食べられるような販路を構築していきたいと準備をしています。また今後のPRも大きな課題です。ホームページやいろいろな機関紙に掲載したり、店頭には統一した幟旗で客を呼び込む方法など検討しています。

